

これまでのイベント

- 第1弾（写真②）
初めてのクッキング体験！
親子でマフィンを作って一緒に食べよう！
- 第2弾（写真③）
うさぎもちハレラテつばめの遊具のお試し体験
- 第3弾（写真①）
BBQのプロ直伝！
親子で大きい肉を焼いて食べよう！

親子対象のイベントは、参加のしやすさから土・日曜日に開催することが一般的です。こうした中、市では、企業の「子育て」のための休暇取得への理解促進と、男女の積極的な育児参加を推進するため、いつもは仕事をしている人が多い「平日」に親子体験型イベントを開催しています。

市の取り組み その1

平日親子体験型イベントの開催



■問合せ こども未来課 総務企画係 ☎77・8225

市の取り組み その2

つば×ともモデルエピソードアワード2025

一人ひとりの意識と行動の変化が、「共育で社会」への第一歩です。

その一環として、職場や地域、家族と協力して行う「共家事」「共育で」の取り組みエピソードを募集する「つば×ともモデルエピソードアワード」を初開催します。

家事効率化のアイデア、働きやすい職場環境づくりの工夫など、さまざまな取り組みを表彰し、市民に紹介します。一つひとつは小さな取り組みでも、「これなら自分にもできるかも!」というアイデアと出会うきっかけをつくっていきます。



取り組みやアイデアを募集します!

- 対象 市内在住または在勤の人
- 内容 市内で家族や職場、地域などと協力しながら実践している取り組みやアイデアを募集します。
- 申込み 12月24日(木)までに申込フォームが郵送にて
- 選考・表彰 一般投票などを経て、受賞作を決定・表彰
- 問合せ 地域振興課 協働推進係 ☎77・8361

詳しくはこちら▶



▲受賞者には燕市の豪華製品を贈呈します。

みんな
で育てる
みんな
で支える

共育で

子育ては、ママやパパだけのものではありません。職場や地域、社会全体が手を取り合いながら子どもを育てる。それが「共育で」という考え方です。燕市では、誰もが子育てしやすく、働きやすく、暮らしやすいまちを目指し、家庭・職場・地域がつながる「共育で」の推進に取り組んでいます。



「共育で」の4つのカタチ

- ① 家庭での協力
家族と一緒に子育てをし、時間と負担を分け合う。
- ② 仕事との両立
男女問わず、育児と仕事を両立できる働き方を整える。
- ③ 企業のサポート
育児休業や時短勤務など、企業が積極的に支援する。
- ④ 地域とのつながり
近所や地域の人、関係機関が協力して見守る。

「共育で」は、国の「こども大綱」(令和5年12月策定)で示された考え方で、育児の負担が女性に偏っている現状を見直し、家庭や職場、地域が力を合わせて子どもを育てていくことを目指すものです。子育てで家庭の毎日は、保育園などの送り迎えや夕食の準備など、あつという間に時間が過ぎていきます。ママもパパも無理なく育児と仕事が両立できる環境を整えることが大切です。最近では、男性の育児休業取得や家事・育児への参加も増えてきましたが、

ワンオペ育児や、とるだけ育児、働き方への意識・理解不足、職場環境の不備など、まだまだ課題も残っています。この課題に取り組むためには、職場や地域、社会の協力が必要不可欠です。夫婦だけでなく、誰もが子育ての当事者となる「共育で」の意識が広がれば、暮らしやすい社会につながります。燕市では、「子育てをがんばる個人」から「みんなが子育てを支え合う社会」を目指して、取り組みを進めています。

「子育ては、ママやパパだけのものではない」